



MIYATA Mari

宮田 真理

今取り組んでいる研究の面白いところを教えてください

環境に優しいバイオマスを活用した機能性高分子材料や環境調和型合成プロセスの研究開発を進めています。高分子は分子量や立体構造を制御することで様々な特性が発現するため、材料の高機能化を実現することが可能です。環境や医療分野をはじめ関連分野も多種多様であり、異分野融合の材料開発では様々な視点から新しい発見ができることがとても面白いです。

高専の教員になったきっかけを教えてください

科学技術振興機構が運営するJREC-IN Portalから現職の長岡高専の求人公募を見つけて応募したことがきっかけです。博士課程在学中に長岡高専が実施した高専教員体験会に参加させていただいた経験はとても貴重であり、応募を決める際にとても参考になりました。

物質工学科

助教／博士（工学）

（職位は2021年3月時点）

研究分野

機能性高分子、超分子、
合成化学、複合材料

リサーチマップ

<https://researchmap.jp/miyata>

高専の教員になっていかがですか

専門学科の教員は、職位に関係なく自分の研究室を立ち上げて研究に着手できる環境があり、高専教員の魅力の一つだと感じています。研究室の配属学生とは、最大で約3年半の間、同じ研究室と一緒に研究を取り組むことができます。高専教員が取り組む仕事は多岐に渡っており、研究を進めていくうえで大事な研究費の獲得や論文執筆、高校1年～大学4年相当（高専本科5年間および専攻科2年間）の幅広い高専学生の各年齢層に対応した授業と教育指導、その他にも教育や研究に関連した地域貢献や普及活動など、様々なことを行います。様々な活動を通して、所属機関内に留まらず、他研究機関の研究者や企業、地域の方などと嬉しい発見や成果を共有できることは良いと思います。大変だと思うことも多々ありますが、自分を成長させてくれる仕事はやりがいがあると感じています。

